

第21回 黒潮よさこい祭り 事業概要

1 事業名 第21回 黒潮よさこい祭り テーマ：^{あっぱれ}天祭～黒潮よさこい祭りにかします～

2 開催日時 令和6年11月24日(日)9:30～19:00 雨天決行（荒天中止） 前夜祭（エキシビジョンイベント）開催

会場名	場所	様式	時間帯	
市役所会場	銚子市役所駐車場	ステージ	9:30～19:00	一次審査／ファイナル審査
シンボルロード会場	シンボルロード	パレード	10:00～17:00	ファイナル審査
利根川会場	河岸公園	ステージ	10:00～16:00	
銀座通り会場	銀座通り	パレード	10:00～16:00	
飯沼観音会場	飯沼観音境内	ステージ	10:00～16:00	全5会場

4 組織

主催 黒潮よさこい祭り実行委員会

協力 (一社)銚子市観光協会、(一社)銚子青年会議所、伊右衛門マルシェ、銚子元氣塾

後援 千葉県、銚子市、銚子市教育委員会、(公社)千葉県観光物産協会、真言宗飯沼山圓福寺、銚子商工会議所

(見込み) 銚子銀座商店街振興組合、銚子本通り商店会、銚子市町内会連合協議会、銚子駅前商店街振興組合、JR東日本銚子駅
銚子電気鉄道(株)、銚子テレビ放送(株)、千葉交通(株)、NPO法人千葉よさこい連絡協議会、千葉科学大学
(一社)銚子市観光協会、(株)千葉日报社、読売新聞社千葉支局、朝日新聞千葉総局、(株)大衆日报社
銚子ボランティア観光船頭会、茨城よさこい連絡会、よさこいネットワーク栃木

協賛 約250社 個人サポーター50人 その他団体

5 趣旨 地場産業／観光産業の活性化と青少年健全育成を念頭に、世代を超えて受け継がれる「千葉県下における一大秋祭り」の確立を目標とする。そして、住民の愛郷心を呼び起こすことに寄与すると共に、観客と参加者、関係者すべての方々が「秋の風物詩」として開催を待ち望む様な祭りづくりを続けていく。

6 内容 銚子の豊富な「食資源」。その魅力を活かした企画と、多くの方々に関心を向けると見込む企画を充実させることで来場者数の増強を図る。また、この催事の柱となる「YOSAKOI」については、県外からの参加者を多く募り催事の総合的な活性を図る。15店舗が並ぶ「黒よさ屋台村」や「名産品マルシェ」などで飲食及び、物販ブースを充実させる。

過去の実績	参加チーム数		観客数	
	チーム数	人数	人数	
第1回(2004年)	22チーム	約1,000人	10,000人	
第2回(2005年)	31チーム	約1,300人	10,000人	
第3回(2006年)	30チーム	約1,500人	22,000人	
第4回(2007年)	36チーム	約1,000人	20,000人	
第5回(2008年)	40チーム	約1,200人	20,000人	
第6回(2009年)	65チーム	約1,300人	20,000人	(舞祭チーム5、フリーダンスチーム19含む)
第7回(2010年)	10チーム	約250人	3,000人	本祭は荒天により中止
感謝祭	35チーム	約900人	10,000人	12月に臨時開催
第8回(2011年)	40チーム	約1,000人	20,000人	
第9回(2012年)	35チーム	約1,000人	20,000人	
第10回(2013年)	30チーム	約850人	20,000人	
第11回(2014年)	51チーム	約1,500人	30,000人	
第12回(2015年)	50チーム	約1,500人	35,000人	
第13回(2016年)	45チーム	約1,500人	20,000人	
第14回(2017年)	50チーム	約1,500人	25,000人	
第15回(2018年)	48チーム	約1,500人	35,000人	
第16回(2019年)	48チーム	約1,500人	20,000人	
第17回(2020年)	0チーム	0人	0人	コロナ禍により中止
第18回(2021年)	0チーム	0人	0人	コロナ禍により中止
第19回(2022年)	37チーム	約1,200人	18,000人	
第20回(2023年)	51チーム	約1,600人	18,000人	

8 本年度 (見込み) 第21回(2024年) 50チーム 観客動員数 1500人 30,000人 (内訳：主催者20人、スタッフ30人、参加者1,450人)